

学習内容報告書 フォーマット

学校名	鳥羽市立答志中学校
授業者	尾上光彦、中村希美佳

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

わかめ養殖体験学習

1-2. 学年

第1学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

答志島の主要な産業の一つであるわかめ養殖について、PTA わかめ委員さんや関係機関、関係者の協力を得て、調査、聴きとり、体験活動を行い、その成果を発表する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい



本校は鳥羽市の離島・答志島にある。生徒の保護者には水産業や観光業などに従事する方が多く、生徒は普段から身近な海と深く関わって生活を送っている。卒業後の進路でも、漁師等海に関わる職業に就く生徒が多い。これらの状況をふまえ、本校では地域の産業や地域で働く人々と触れあうことで、地域の特性や良さを知り、自らの将来や生き方について考える糧になるのではないかと考え、学年ごとにテーマを決めて、1年間を通して、総合的な学習の時間の中に位置づけ、取り組みを続けている。

1年生は答志島の主要な産業の一つであるわかめ養殖を体験・見学を行っている。PTA から選出されたわかめ委員に準備、指導をしていただき、「種付け」「水替え」「沖出し」「刈り取り」について体験や見学をしたり、それらの作業内容や養殖業という仕事等について聞き取りをしたりして、海を活かした産業について学習する。また学習内容をまとめ、全校集会で発表する。本学習を通して、ふるさと・答志島の海の環境や、その海を活かした産業に関わる地域の人々の思いや活動を考え理解を深めさせたいと考え、本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

地域の海に関わる様々な人との出会いや体験の中で、感謝や思いやりの温かい心を持ち、ふるさと・答志を知っていく中で、地域の海に関わる産業、伝統、文化を継承、発展させていく心情を養う。

1-7. 単元の展開 (全 8 時間)

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>・わかめの沖出し作業の体験・見学 わかめ委員さんに育てていただいた種糸をロープに巻き付け、船外機から所定の養殖場所の海へ出す作業を体験、見学する。</p> 	<p><教師の指導> 作業場所への引率、体験や見学の補助、ワークシートの作成 <主な評価> ・体験活動に積極的に取り組んでいるか。 ・ワークシートに聞き取った内容をまとめられているか。 <外部連携>PTA わかめ委員 <使用教材>ワークシート、ライフジャケット</p>
2	<p>・わかめの刈り取り作業の体験 成長したわかめを陸に上げ、刈り取る作業を体験する。</p> 	<p><教師の指導> 作業場所への引率、体験の補助、ワークシートの作成 <主な評価> ・体験活動に積極的に取り組んでいるか。 ・ワークシートに体験した内容をまとめられているか。 <外部連携>PTA わかめ委員 <使用教材>ワークシート、ライフジャケット、GoPro</p>
3	<p>・わかめ委員さんへのインタビュー Zoom を用いて、わかめ委員さんにわかめ養殖の方法や今年度のような様子等について質問をする。</p>	<p><教師の指導> タブレット P C の設定や使用方法の指導 <主な評価> ・疑問や気になるところをまとめ、質問をすることができたか。 ・答えていただいた内容を記録し、まとめられているか。 <外部連携>PTA わかめ委員 <使用教材>タブレット P C、記録用紙</p>
4 ～ 6	<p>・発表に向けての準備 各自で、体験した内容や感想などをスライドショーにまとめる。</p>	<p><教師の指導> P C や PowerPoint の設定や使用方法の指導 <主な評価> ・体験内容をまとめ、スライドショーをつくることができたか。 ・発表内容をわかりやすくまとめられているか。 <使用教材> P C、これまでのワークシート</p>

7	<p>・わかめ養殖体験学習の発表 スライドショーにまとめた内容を、全校集会で発表する。(保護者にはZoomで配信する。)</p>	<p><教師の指導> P CやPowerPoint の設定 <主な評価> ・わかりやすく伝わるように発表できているか。 <使用教材> P C、モニター</p>
---	--	---

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・体験学習を通してわかめの養殖の方法を知る。
- ・地場産業への認識を深めるとともに、勤労の尊さや、仲間と協力することの大切さを学び、郷土を愛する心を育てる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
8:20 和具港に集合 ・わかめ委員さんから体験内容の説明を聴く。	・生徒の集合を確認し、荷物を置く場所を指示する。 ・カップ、長靴の着用を確認する。 ・全員集合したら、代表生徒にわかめ委員さんへ挨拶をさせる。 ・わかめ委員さんに作業の説明と注意事項を話していただく。
8:45 沖出し体験 ・船で沖に出て、わかめの種が着いたロープを沖のロープに結ぶ作業をする。	・ライフジャケットを着用させる。 ・安全に乗船させる。 ・作業場所についたら、一人ずつロープに種糸をまく作業を体験させる。 ・写真などで体験する様子を記録する。
9:30 体験終了 ・わかめ委員さんにお礼をし、学校へもどる。 ・教室で体験内容や感想を書く。	・ライフジャケットを回収する。 ・代表生徒にお礼の挨拶をさせる。 ・教室でワークシートを配布し、記録させる。

3. 今回の活動の自己評価

- ・生徒の感想には「最初は小さかったわかめがすごく大きくなって育っていたのがすごく嬉しかった。」「わかめの仕事をしている方たちは、わかめのことを大切にしてくれてすごく丁寧に育てていることが分かった。」「体験する前は何も考えずに食べていたけど、体験した後からは感謝して味わって食べたいと思った。」などがあり、体験学習を通して海ではたらく人々の仕事や地元の海の環境についての気づきや発見が多く得られた様子であった。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、計画していた内容にすべて取り組むことができなかったが、わかめ委員さんへのインタビューなど状況を鑑みて活動内容を見直したことで、例年にはない新たな発見を得ることもできた。
- ・わかめ委員さんには、自身の仕事をする場所や時間をさいて、本学習の準備や指導をしていただいている。地域の方々の協力やつながりの大切さを改めて感じた。

4. 今後の課題

- ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動に制限があり、例年行っている種付け作業の体験ができなかった。その代わりにわかめ委員さんに種付け用のめかぶを分けていただき、教員の教材研究として理科室で種付けと生育の観察を行った。遊走子の観察や雄株・雌株の観察まではできたものの、沖出しができるまで成長させることができなかった。種付けから沖出しまでのわかめの生育について、例年の活動でもなかなか観察する機会がないため、外部機関と連携しながらそのような機会をつくっていききたい。
- ・収穫したわかめは一部を給食センターや保育所などに配り、残りは業者に買い取っていただく。その後の流通や販売についても体験学習ができるような手立てを考えていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<協力> 答志中学校 PTA わかめ委員、答志和具漁協

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。